

科 目 名	心理学概論
単 位	2
教 員 名	木村 ゆみ
授 業 概 要	心理学を学ぶための基礎となる入門的な講義を行う。人の心の基本的な仕組みや働き、個人差などについて、心理学の成り立ちや歴史を踏まえ、心を測定する様々な方法を学ぶ。人は環境の中で生きていくために、物を見たり音を聞いたりする。また行動から得た様々な経験を未来に活かしている。子どもから大人へと心も成長する。本講義では心の働きについて幅広く学ぶ。講義ではグループディスカッションも取り入れる。
授業の目的・到達目標	心理学の基礎的な概念を知るとともに、心理学の対象となる基本的な心の働きを知る。心理学の知識を習得し、自己表現力を高めるために、学習した内容を短い文章でまとめて説明できるようになる。科学的なものの見方を習得でき、心の現象について客観的証拠に基づいた論理的説明ができるようになる。
授 業 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション／心理学を学ぶ</li> <li>2. 心理学の成り立ち・歴史</li> <li>3. 心理学の研究法・研究倫理</li> <li>4. 感覚と知覚（刺激閾、弁別閾、精神物理学）</li> <li>5. 感覚と知覚（視覚）</li> <li>6. 感覚と知覚（聴覚、触覚）</li> <li>7. 学習（古典的条件づけ）</li> <li>8. 学習（オペラント条件づけ）</li> <li>9. 記憶（感覚記憶と短期記憶）</li> <li>10. 記憶（長期記憶）</li> <li>11. 概念・思考</li> <li>12. 自分を知る（自己概念、自尊心、自己開示）</li> <li>13. 心の発達（遺伝と環境、乳幼児期）</li> <li>14. 心の発達（児童期～青年期）</li> <li>15. 心の発達（成人期）</li> </ol> 定期試験を実施する
予 習・復 習	毎回、講義の開始時に前回講義の内容に関する小テストを行うため、プリントやノートを見直し復習しておくこと。心理学に関連した本をたくさん読むこと（授業でも関連図書は紹介するが、自分で調べて興

	味のある分野についての知識を深めることが望ましい)。
成績評価の基準	<p>評価方法 定期試験 70%，小テストを含む通常点 30%</p> <p>評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心理学の研究対象とされる心の働きにどのようなテーマがあるのかを説明できる</li> <li>・心理学の成立や現在までの歴史的背景を説明できる</li> <li>・感覚・知覚・学習・記憶・発達・社会などの諸領域におけるキーワードを説明できる</li> </ul>
教科書	資料を配布する。
参考書	<p>吉崎一人・松尾貴司・斎藤和志「心理学概説—こころを科学する」、ナカニシヤ出版、2019</p> <p>北尾倫彦・中島実・井上毅・石王敦子「グラフィック心理学」サイエンス社、1997</p> <p>無藤隆・森敏昭・遠藤由美・玉瀬耕治「心理学」有斐閣、2004</p>
備考・その他	早退・途中退席は必ず教員に申し出ること。携帯電話や私語など、妨害行為は厳禁。自分で興味の範囲を広げ、積極的に取り組んでいけるよう、参考文献などを講義で紹介します。